

会議の名称	令和5年度第4回本庄市廃棄物減量等推進審議会
開催日時	令和6年2月15日(木) 午後2時から 午後3時15分まで
開催場所	本庄市役所 職員厚生室
出席者	委員：委員16名 事務局：本庄市環境推進課／高橋課長、福本課長補佐、山田主任 支所環境産業課／松井課長、飯島課長補佐
欠席者	委員2名
議題 (次第)	1. 開会 2. あいさつ 3. 議事 (1) パブリックコメントの結果について (2) 本庄市一般廃棄物処理基本計画(案)及び本庄市食品ロス削減推進計画(案)について (3) 答申書(案)について 4. その他 5. 閉会
配付資料	1. 第4回本庄市廃棄物減量等推進審議会次第 2. 委員名簿(裏面：席次表) 3. 本庄市一般廃棄物処理基本計画(案)及び本庄市食品ロス削減推進計画(案)に対する意見と市の考え方 4. 本庄市一般廃棄物処理基本計画(本庄市食品ロス削減推進計画)(案) 5. 生ごみ出しません袋でゴミを減らそう
その他特記事項	無し
主管課	経済環境部環境推進課

会 議 録

会 議 の 経 過	
発 言 者	発言内容・決定事項等
1. 開会	
高橋課長	本日はお忙しい中、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。 定刻となりましたので、只今から、令和5年度第4回本庄市廃棄物減量等推進審議会を開催させていただきます。 なお本日の会議につきましては、第3号委員でいらっしゃいます埼玉ひびきの農業協同組合の岩田様、第4号委員でいらっしゃいます公募の境野様より欠席の連絡をいただいておりますので報告させていただきます。 申し遅れましたが、私は、本日の司会進行を務めさせていただきます、環境推進課長の高橋と申します。よろしくお願いいたします。
2. あいさつ	
高橋課長	それでは、開会にあたりまして、早野会長よりご挨拶を申し上げます。
早野会長	あいさつ
高橋課長	ありがとうございました。 続きまして議事に入らせていただきます。議事の進行につきましては、会長にお願いいたします。
早野会長	それでは早速審議に入らせていただきます。 始めに、当審議会の開催に必要な定数に足りているか及び傍聴希望者について事務局から報告をお願いいたします。
高橋課長	ご報告申し上げます。「本庄市廃棄物減量等推進審議会条例第6条第3項」では、「審議会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない」と規定しております。本日、出席いただいている委員の皆さんは18名中16名でありますので、定数に足りていることをご報告いたします。なお本日は傍聴を希望する方はおりませんので、併せてご報告いたします。
3. 議事	
(1) パブリックコメントの結果について	
(2) 本庄市一般廃棄物処理基本計画（案）及び本庄市食品ロス削減推進計画（案）について	
(3) 答申書（案）について	
早野会長	それでは、議事に入ります前に、配付資料の確認を事務局よりお願いいたします。
事務局	配付資料の確認
早野会長	それでは、3の議事（1）パブリックコメントの結果について、事務局より説明をお願いします。 また、質疑ご意見等につきましては、事務局の説明後に受けたいと思いま

	すので、よろしくお願いいたします。
事務局	パブリックコメントの結果について説明
早野会長	ありがとうございました。 只今の事務局の説明について、ご質疑ありましたら、挙手をお願いします。
浅見委員	3 番目に収集体制の拡充とあり、排出機会を増やすことについて検討と書いてあります。実際問題として、人手の関係もありますし、コストアップにもつながるし、安易に検討ということを出すよりも、本庄市の現状を考えて、予算面において無理があると思った方が良くと思います。希望的観測のようなことを書かない方がいいのではないかと思います。
福本課長補佐	こちらにつきまして、今回、組成分析調査を行った結果、不燃ごみの中に資源ごみが多く混入しているという事例がありました。資源ごみの投入が多いということで、例えば現在、本庄地域では不燃ごみが月 2 回、資源ごみが月 1 回の収集です。収集回数自体を増やすのはお金がかかってしまいますので、例えば不燃ごみを月 1 回、資源ごみを月 2 回にすることなどが考えられます。見直しと言っても、不燃ごみが本当に 1 回でいいのか、ということもありますので、来年からできますという話ではありません。 市としては、公民館など常設されているところも少ないですが、そういった常設の回収拠点も含め、排出機会の拡大ということで見直しを図っていきたいと考えています。
浅見委員	頻度は変わらないですね。そうであればコストアップにつながるものはやらないと書いた方がいい。もっと啓発を進めるべきです。
福本課長補佐	収集回数を増やすことは難しいと考えています。不燃ごみを月 1 回にすることは問題との意見が多ければ変更しますが、できませんとは書きにくいです。
浅見委員	具体的な記述を書くべきではないか。検討はいいが、収集を増やすイメージを与えない方がいいと思う。
高橋課長	ここでいただいた意見は、54 頁の上に記載しています。組成調査をした結果を踏まえると、不燃ごみに資源物が多く含まれています。将来的に、排出機会を増やすことなども含めて、体制の変更を検討していくことも重要ですという書き方になっています。計画の中で具体的に検討を進めていきたいと考えています。
渡部委員	PR をもう少しできないか。混入していることの PR、分別することの PR を行うことが最初ではないかと思う。もう少し丁寧に書くべきではないか。具体的にどう推進するのか。自治会をとおして、何かの機会に説明する会を開催するのか。 油の入っているペットボトルや、しょう油の入っているペットボトルは、具体的にどうするかわからなく市民は悩んでいるのでは。悩むことを聞くことができる体制づくりを進めたほうがいい。

福本課長補佐	分別意識を向上させることは大事な取組ですので、これを進めていきます。油の付いたプラスチックをどうすれば良いか、分かりやすいように、不燃と可燃の分別の仕方について周知できるよう取り組んでいきたいと考えます。 回答でも、分別意識の向上に触れるようにしたいと思います。
高橋課長	計画書の 58 頁で、ごみ処理に関する方向性として、具体的な例までは示していませんが、家庭系ごみ、資源ごみの減量・分別意識の向上を目指すために、効果的な啓発方法を検討する等、継続して検討していく旨、記載しています。
木原委員	近所にアルミホイルを不燃に入れている家庭がある。事務局へ聞いた時、アルミホイルは燃えるごみと言われた。その後、配付されている資料を見て調べたが、区分表にアルミホイルが入っていないので、よくわからなかった。そういった分別のわかりにくいものも、分かるようにしてもらいたい。
高橋課長	細かなものまで認識してもらうのはなかなか難しいです。広報で一覧を出すことは難しいので、分別がわかりにくいものはホームページに掲載し、わかるように示していきたいと思います。
早野会長	意見を踏まえて対応してもらいたい。パブコメの回答について、他に意見はありませんか。 それでは、3 の議事（2）本庄市一般廃棄物処理基本計画（案）及び本庄市食品ロス削減推進計画（案）について事務局より説明願います。
事務局	説明
浅見委員	57 頁の自治体の比較で、ごみ排出量はワースト 1 位だったが、最終処分減量に要する費用は県内でも少ない方になっている。 ネガティブキャンペーンよりもポジティブキャンペーンの方が良いのではないか。どちらが市民にとって啓蒙になるか検討してほしい。
山田主任	ご指摘のとおり、本庄市は、排出量が多いが、焼却後の埋立費用は安く、優れています。処理に要する費用は安価となっている事実があります。処分費用は委託先の影響が大きく、また変動するものなので、費用がかかっていないことを PR しても市民へ伝わりにくいと思っています。そのため、ごみの排出量を減らすことが、収集費用や処理費用の削減にも繋がる面がありますので、排出量ワースト 1 位を改善する方向で啓蒙する方が効果的ではないかと考えています。
渡部委員	最終処分減量が少ないということは、燃やすために残ったものが少ないという意味。本庄市は、燃やすごみの中に水と紙が多いので、排出量が多いということではないか。水が多いということは燃料を使うということであり、誤解を招く可能性があるので、事務局の提案のように、ごみを減らす方がいい。

高橋課長	焼却場の運転や最終処分は児玉郡市広域市町村圏組合で行う役割分担となっているので、市としては排出の削減に取り組むのが第一と考えています。
早野会長	最終処分減量に要する費用について東秩父村の値が非常に大きいですが、どういった要因なのか。
高橋課長	本庄市は2万円、美里町は2万2千円、神川町は3万6千円であり、分母となる人口の大小も影響していると考えられます。引用元は、埼玉県が取りまとめているデータです。
早野会長	人口の影響ということで理解する。
松井委員	埼玉県でワースト1位はいいこと、これ以上悪くならないということ。常識的な議論では、その範囲でしかごみは減らない。非常識な議論をしないともっと減らないはず。徹底して、極端には、ごみを半分するにはどうする、といった議論をやらない限り、ごみは減らない。 常識的な話し合いを1年間続けたらワースト2位くらいにはなるかもしれないが、ごみを半分にするにはどうするのか、そういう非常識な議論が必要ではないか。 私は生ごみを畑に出すので、生ごみはごみとして出さない。自治会ともどのようにコラボし、環境問題に取り組んでいくかも必要。いかにごみを減らしていくか。 可燃ごみに資源ごみが入っていたら持って行かない等の措置も必要ではないか。ごみが半分になったら、収集員の収入が増えるなど。 この審議会に応募したのは、勘違いしたためで、自然環境と思って応募した。東京では蛍を飛ばそうと実験としたこともある。もっと非常識なそういう議論がたくさんできないと状況は変わらないと思う。
渡部委員	ここは審議会で検討委員会ではないので、具体案を考えるのであれば、別の会を立ち上げ、議論する必要がある。
早野会長	ご意見として承っておきます。 それでは、議事（3）答申書（案）について事務局より説明願います。
事務局	説明
早野会長	異議はないですか。
福本課長補佐	答申は、2月27日の夕方を予定しています。会長、副会長に出席いただき、事務局とで対応したいと思います。
4. その他	
浅見委員	意見を申し上げたい。 前回、環境課の予算は2,000万円と伺った。内訳は人件費や印刷費などである。過去に、委員からの提言に対し、実施したものがあるのか。この時勢、2,000万円では何もできないと思う。予算を増額する手段や意気込みはあるのか。市民に見える形での減量化の取組、そういうものを導入する意気込みがあるのかどうか。

高橋課長	予算の 2,000 万円というのは勘違いと思われます。環境推進課の予算とは大きく異なっている。ごみの収集の委託費用なども全て入ってくるので実際にはもっと大きな金額になります。 ワースト 1 位の解消へ向けて、いろいろな施策に取り組んでいくことを考えており、特に生ごみの減量へ向けた取り組みなどを考えています。 生ごみ処理容器等設置費補助金などを継続しつつ、新たな取組を検討していきたい。
事務局	ごみ減量に対する新たな取組（生ごみ出しません袋）の説明
渡部委員	具体的には何が入られるのか。
山田主任	マスクやティッシュなど紙として再利用できないものや、容器包装プラスチック、製品プラスチックなどが対象です。
渡部委員	紙おむつはいいのか。 こういうものはいい、と言ってもらえると集まりやすいのでは。
高橋課長	紙おむつは排出可能です。基本的には、今可燃ごみに出しているものから、生ごみを除くものととらえていただければと思います。 生ごみ以外に、資源として利用できる紙類はリサイクルしていただきたいので、宣言される方には、そのような説明をしています。
渡部委員	飲み物のキャップなど、生活の中で迷うようなもの、分からないものは、聞くことができるところがあると良い。 特に婦人会などで、困っているものに、答えていくとより良いのでは。
高橋課長	委員の皆さんの中でも、分別が分かりにくいものが多いと感じる。 今後、より一層、周知啓発に取り組んでいきたい。
浅見委員	雑がみの扱いにならないものを示していくのが良い。 箔押しした紙などより細かいことが書かれた内容だと望ましい。
山田主任	雑がみも多岐にわたるため、防水加工の有無など、業者によって扱える事業者、扱えない事業者があります。あまり細かい分別だと判断が難しい面もありますので、より効果的なリサイクルを推進するために、品目を絞った周知を行っていきたいと考えております。
池田委員	段ボールコンポストは温度設定や分量など、結構手間がかかる。なかなか大変なので、続けられない。日向に置いておいても大丈夫など。 温度設定と言われると、寒い中、続けられない。 できれば、婦人の多いところで説明してもらえれば、増えていくのでは。
高橋課長	講師を招いて講習会を行っている。進める際に難しい点があれば、講師の先生に、直接問合せいただいている。
伊藤委員	分別について全てを把握できていない人が周りにもたくさんいる。 廃棄物の講習を受けたいという時に、来てもらうことができるのか。 ごみを減らすための努力をするには、学ぶ必要があると思う。
高橋課長	日程の調整ができれば、ある程度の人数が集まるところであれば、何うこ

	とができます。 日常的に、分別の仕方が分からない場合、スマホのごみ分別アプリを利用して欲しい。
伊藤委員	相対して話す、説明してもらう方が伝わりやすい。
高橋課長	ありがとうございました。 他に何かございますか。よろしいでしょうか。 それでは副会長より閉会のごあいさつをお願いいたします。
5. 閉会	
三ツ間副会長	閉会のごあいさつ

会 長 早野 靖